

ダイジェスト版

金沢の 農業と森づくりプラン 2025

金沢市

1

プラン策定の趣旨

- ・金沢の農業と森づくりプラン 2025 は、「金沢の農業と森づくりプラン（平成 19 年3月策定）」策定後の農林業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、金沢の農林業の持続的な発展と農山村の活性化を推進するための基本方針と重点施策を明確にしたプランです。
- ・このプランは施策の進捗状況や目標の達成状況等を定期的に把握・検証し、必要に応じて施策を見直すなど、PDCA サイクルによる進行管理を行ながら、より効果的な施策や事業の展開を図ります。

金沢の農業と森づくりプラン（平成 19 年3月）

- 【農業】**
- ・農業に携わる担い手不足
 - ・農地の荒廃の進行
 - ・消費者ニーズの多様化
 - ・農山村の過疎化
 - ・鳥獣被害の拡大 等

- 【森づくり】**
- ・森林所有者の経営意欲の低下
 - ・森林の荒廃の進行
 - ・人工林収穫期の到来
 - ・森林の持つ多面的機能に対する関心の高まり 等

金沢の農業と森づくりプラン 2025 (平成 28 年 3月策定)

目標年次：令和 7 (2025) 年度

“世界の「交流拠点都市金沢」重点戦略計画（平成 26 年2月）”に基づく、農林業の振興計画として位置づけ、本市農林業の健全な発展に向けた総合的かつ計画的な取組の指針

7つの基本方針 17 の重点施策

農業

I 多様な担い手の育成・確保

1. 地域農業の中心となる担い手の育成
2. 次世代を担う農業者の育成
3. 生産力向上のための基盤の整備



II 金沢産農産物の魅力向上と生産拡大

1. ニーズに即した農産物の安定生産
2. ブランド力の向上と販売促進
3. 地域に根ざした地産地消の推進



III 活力ある農山村づくり

1. 農山村のもつ多様な役割の維持・発揮
2. いきいきとした農山村地域の形成



森づくり

I 健全な森林の育成・整備

1. 森林の適正な管理・保全・整備の推進
2. 効率的で持続可能な林業経営の実現
3. 病害虫及び獣害対策の推進



II 森林資源の活用拡大

1. 金沢産材の利用拡大
2. 未利用森林資源の活用



III 森づくり活動の推進

1. 森に親しむ活動の推進
2. 市民や企業等との協働による森づくりの推進



IV 森林環境譲与税の適正な活用

1. 森林経営管理制度の適正な執行
2. 森林環境譲与税活用検討会における提言の具現化







基本方針と重点施策		施策の方向	具体的な取組	主な目標 (H27→R7) ※印はR3に目標の見直しを実施した項目
I 健全な森林の育成・整備	1. 森林の適正な管理・保全・整備の推進	①計画的な森林整備の推進 ②森林境界の明確化と相続手続きの促進 ③荒廃竹林対策の拡充 ④森林所有者に対する啓発	森づくりの方向性を示す「森林区分」の明確化 森林区分に応じた整備の推進 等 境界明確化の推進 森林所有者の相続手続きの促進 等 地域住民等の連携による伐採竹処分の促進 エネルギー源としての伐採竹の活用 等 林業大学校の拡充 私有林整備にかかる支援策の周知 等	●森林整備面積 (市営造林地除く) (160→200ha/年) ●竹林伐採面積 (13→20ha/年) ●森林所有者向け公開講座の開催数 (-→3回/年)
	2. 効率的で持続可能な林業経営の実現	①森林整備の低コスト化の推進 ②ICTの活用 ③優れた技術者の育成 ④特用林産物の生産振興	高性能林業機械の導入支援 林内路網整備の推進 等 森林総合情報システムの高度化 現場作業におけるタブレット端末の導入促進 等 伐採や搬出作業等に関する技術者の育成支援 「森林施業プランナー」の育成支援 等 特用林産物の生産基盤強化等に対する支援の拡充 里山食材を活用した特産品の導入推進 等	●金沢産材供給量 (2,077→2,500 m³/年) ●林内路網整備延長 (13,487→15,000 m/年) ●高度技術研修の開催数 (-→3回/年) ●里山特産品の品目数 (2→5品)
	3. 病害虫及び獣害対策の推進	①松くい虫対策の強化 ②クマ等野生獣対策の強化	薬剤散布と樹幹注入による被害防止対策の実施 抵抗性マツの新植と適切な保育管理 等 人とクマとのすみ分けを目的とした緩衝帯の整備促進 SNS等を活用した、より効果的なクマ出没情報の発信 等	●抵抗性マツの植栽本数 (13,640→30,000本※) ●緩衝帯整備町会数 (15→25町会)
II 森林資源の活用拡大	1. 金沢産材の利用拡大	①公共利用の拡大 ②民間需要の更なる開拓 ③利用拡大に向けた情報発信	公共建築物の木造化、内外装の木質化の推進 等 「木のある暮らしづくり奨励事業」の推進 店舗やオフィス等民間施設における木材利用の促進 等 インテリアコーディネーター等を対象としたセミナーの開催 イベント等でのPR強化 等	●ぬくもりの教室整備数 (26→60校) ●公共事業における木材使用量 (460→700 m³/年) ●柱使用本数 (木の家奨励事業) (132,365→276,000本)
	2. 未利用森林資源の活用	①林地残材等の利用拡大 ②新たな利用方法に関する情報収集・研究	収集・運搬の効率化の検討 木質ペレット等によるエネルギー利用の普及促進 等 CLTなど新たな木材加工技術の導入促進 等	●公共施設での木質ペレット使用量 (25→10t※)
	1. 森に親しむ活動の推進	①「金沢の森育」の推進 ②森と触れ合う機会の創出 ③森からの魅力発信	「森づくり出前講座」の充実 森育コーナー「森のあそび場」の設置 等 森と触れ合う場の整備と利用促進 等 SNS等を利用した情報発信の推進 等	●出前講座開催数 (24→40回/年) ●森林イベント参加者数 (4,100→8,000人/年)
	2. 市民や企業等との協働による森づくりの推進	①市民協働の森づくりへの支援	企業や学生、NPO等が取り組む森づくり活動への支援の拡充 等	●森づくりサポートバンク登録者数 (5,749→10,000人)
IV 森林環境譲与税の適正な活用	1. 森林経営管理制度の適正な執行	①森林経営管理制度に基づく林業の振興と 森林資源の適正な管理	森林所有者と林業事業者をつなぎ林業経営を推進 林業経営に適さない森林は市が自ら管理を実施 等	●意向調査の実施 (-→5区域 (全17区域のうち)※) ●森林経営管理権集積計画の策定面積 (-→20ha※)
	2. 森林環境譲与税活用検討会における 提言の具現化	①基本理念「森からはじまる金沢のミライ」の実現	「いのちの森プロジェクト」「くらしの森プロジェクト」「こころの森 プロジェクト」の実施 等	●森林環境譲与税を活用した新規施策数 (-→10施策※)



金沢の農業と森づくりプラン 2025

平成28（2016）年 3月策定
令和4（2022）年 3月改訂

発行 金 沢 市

編集 金沢市農林水産局

〒920-8577 金沢市柿木畠1番1号

電 話 (076) 220-2214 (農業水産振興課)

F A X (076) 222-7291

E-mail nourin_s@city.kanazawa.lg.jp